ふなばし
市議会だより
No. 269
年４回発行
令和8年(2026年)第3回定例会
発　行 船橋市議会
編　集 広報委員会
発行日 令和8年(2026年)11月9日
〒273-8501 船橋市湊町2-10-25
電　話 047-436-3014



『郷土資料館のシンボル』／撮影者：大村 辰夫 様／撮影日：令和5年12月6日／撮影場所：郷土資料館

放課後ルームの新たな利用区分を規定するための条例改正案を審議・可決
令和7年度一般会計決算を含む10会計の決算認定議案を審議・認定

令和8年第3回定例会は、令和8年8月27日から10月5日までの40日間の会期で開かれました。

今定例会では、市長から25議案、議員から6議案が提出され、不妊・不育支援事業に関する補正予算案や、放課後ルームに関する条例改正案などを含む25議案が可決されました。

また、令和7年度一般会計を含む10会計の決算認定議案が提出され、10件を認定しました。

今定例会の主な流れ

8/27	開会 議案・発議案提案説明	P.2、3
9/3～9/11	議案質疑 一般質問	P.4、5 P.10～15
9/15～9/30	各委員会の審査	P.6、7
10/5	採決（議案等の議決） 閉会	P.8
その他	閉会中の委員会報告、会派の構成 市議会見学会を開催しました、お知らせ	P.9 P.16

定例会の内容等について詳しくお知りになりたい方は、市議会ウェブサイトをご覧ください。 船橋市議会 検索

議案の概要

今定例会に提出された議案のうち、主な議案をご紹介します。全ての議案名と議決結果は8ページに掲載しています。各議案の概要は、市議会ウェブサイトをご覧ください。

市長提出

議員提出

不妊・不育支援事業や物価高騰対策事業など

【第1号】令和8年度船橋市一般会計補正予算

補正額
5億4464万7千円

内訳	
総務費	1432万3千円
民生費	1億3986万8千円
衛生費	1411万8千円
農林水産業費	9919万2千円
商工費	8383万3千円
土木費	1億8300万円
消防費	2843万円
教育費	△1811万7千円

【主な事業内容】

不妊・不育支援事業（補正額：750万円）

県の補助金を活用し、こどもを希望する方が、安心して妊娠・出産の準備ができるよう、また、不妊症の可能性に悩む方が少しでも早く検査や必要な治療を受けられるよう、早期不妊検査費助成事業を開始します。

●助成対象者

以下の条件を満たす法律上の夫婦もしくは、事実婚の夫婦

・夫婦の双方又はいずれか一方が、申請時に船橋市の住民基本台帳に記録されていること。

・検査開始時の女性の年齢が43歳未満であること。

・不妊に関する治療又は検査を保険診療として実施している保険医療機関（病院又は診療所）において検査を受けていること。

・県が提供する当該事業に関する動画を視聴の上、事業内容を確認したと認められること。

●助成額

不妊検査に係る費用のうち、対象者の自己負担額（夫婦1組3万円を上限（1回限り））

農水産業における物価高騰対策事業（補正額：9919万2千円）

物価高騰の影響を受けている市内販売農家・畜産業者・漁業者の事業継続を支援します。

販売農家

●助成額

令和7年分確定申告の肥料費の11・5%、諸材料費の17%、段ボール費等の17%、種苗費の12%を助成する。（※上限は合算で100万円）

●要　件

農業収入が50万円以上の販売農家であり、今後も継続して市内で農業を営む意思を有すること。

畜産業者

●支援額

（酪農）・粗飼料　乳用牛1頭あたり5千円
・配合飼料　1tあたり400円
（養鶏）・飼料　採卵鶏1羽あたり80円

●要　件

今後も継続して市内で畜産業を営む意思を有すること。

漁業者

●支援額

総トン数3t未満　1隻あたり3万円
総トン数3t以上　1隻あたり5万円

●要　件

船橋市漁業協同組合の組合員であり、今後も継続して市内で漁業を営む意思を有すること。

貨物自動車運送事業者事業継続支援金（補正額：8383万3千円）

物価高騰や人件費高騰の影響を受けている市内貨物自動車運送事業者に対して、安定した物流事業の継続を支援するため、支援金を交付します。

【支援内容】

●事業区分　一般・特定貨物自動車運送事業、貨物軽自動車運送事業

●車種と支援額／台

・大型
・中型
・小型　2万3千円
・軽　8千円

※1事業者あたり200万円を上限とする。



放課後ルームの新たな利用区分の規定

【第11号】船橋市放課後ルーム条例の一部を改正する条例

待機児童が恒常的に発生している中、現制度の放課後ルームの利用については17時時点の出席率が約6割となることから、空いている約4割の枠を活用し待機児童対策として新たな受け入れを行います。新たな利用区分における児童育成料を船橋市放課後ルーム条例に規定する必要があるため、所要の改正を行います。

新たな利用区分の利用条件等

		通常利用	17時から利用
利用条件		あり（保護者の就労等） ※利用方法による基準の違いはなし	
利用料 （　）内はおやつの提供を受けない場合		1万円 (8千円)	6千円 (4千円)
利用時間	月～金曜日	放課後～19時	17時～19時 ※放課後～17時は船っ子教室を利用することが条件
	土曜日	8時～19時	8時～19時
	夏休み等学校休業日	8時～19時	17時～19時 ※9時～17時は船っ子教室を利用することが条件
	日曜日・祝日・年末年始	利用不可	

【施行期日】
令和9年4月1日

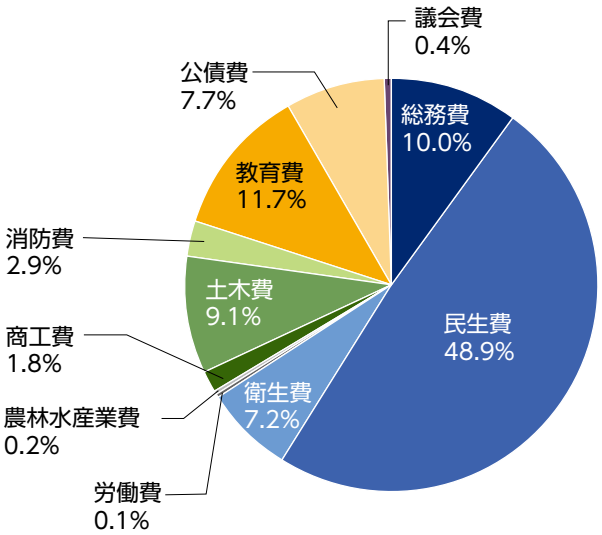
令和7年度一般会計決算

【認定第1号】決算の認定について（一般会計）

令和7年度一般会計 決算額

歳入	2640億3397万5千円
歳出	2564億6632万6千円
差引	75億6764万9千円

歳出決算額の割合　※小数点第2位を四捨五入して掲載しています。



歳出決算額 内訳

議会費	9億9972万9千円
総務費	256億3692万3千円
民生費	1254億4729万4千円
衛生費	184億3440万8千円
労働費	1億7601万9千円
農林水産業費	5億748万6千円
商工費	45億8967万円
土木費	232億8395万2千円
消防費	74億4672万3千円
教育費	300億8854万6千円
公債費	198億5557万8千円

※百の位を四捨五入して掲載しています。

決算の認定とは

議会が、一会計年度の歳入歳出予算の執行の実績である決算について、その内容を審査したうえで、収入・支出が、適法かつ正当に行われたかどうかを確認することです。

議案質疑

今定例会に提出された議案について、質疑したものです。
議案質疑は9月3日、29日に、発議案質疑は9月4日に行われました。

無所属



はまの　太郎

認定第1号

質問 児童ホーム等で始めた使用済み紙おむつ回収に対する利用者の反応は。

答 **地域子育て部長**　好意的な意見を多くいただいており、子育て世帯の利便性向上と負担軽減に効果があったと考える。

質問 令和7年度から開設した船橋日大前駅東口第3自転車等駐車場は、閉鎖した東口第1に比べ駅から遠い。駅に近い場所で整備が必要と考えるが、見解は。

答 **都市整備部長**　引き続き駐輪需要や利用状況を把握するとともに、より駅に近い駐輪場用地の確保に努めていく。

無所属



朝倉　幹晴

第5号

質問 北本町2丁目の保育園前で発生した道路陥没は、船型のカメラで管路内を調査し、腐食や破損等がないことが確認された。汚水幹線と管路の接合部の破損が原因と考えられるが、同様の構造は市内約600箇所あるという。道路の安全、下水道保全のため、同様の箇所を緊急に調査し、脆弱箇所を補修すべき。

答 **下水道部長**　同工法採用の管路施設を早急かつ計画的に調査するよう進める。また腐食や損傷等に焦点を当てた管路の老朽化対策に伴う調査も内容を改善する。

市民民主連合



大沢　たかのり



池沢　みちよ

第5号

質問 宮本ポンプ場の自家発電設備更新は、入札不調を受け事業費が約9億5千万円増額。完成予定時期はどうなるか。

答 **下水道部長**　完成予定時期は令和10年から令和13年へ3年延長となる。

質問 事業費増額の主な要因は。

答 **下水道部長**　大きく3点、施工方法の変更約2億3千万円、工期延伸に伴う仮設発電設備約3億3千万円、材料費・人件費等の価格上昇約3億9千万円。

質問 令和8年8月千葉豪雨での宮本ポンプ場の稼働実績は。

答 **下水道部長**　3時間3分連続運転し、1日で約12万6千立方メートルを排出。

質問 本件を踏まえた再発防止策は。

答 **下水道部長**　市、設計コンサルタント、事業者の三者で現場確認等を行う。

認定第1号

質問 土曜日に実施しているパパ・ママ教室を他自治体同様に平日も開催すべきでは。また、家事・育児支援サービス事業の初回利用料を無料にできないか。

答 **健康部長**　平日実施は利用者の声を聞くとともに他自治体の取組を調査する。初回サービス利用の無料化は利用促進への施策について情報収集に努める。

質問 ひとり親家庭等、経済的に困難な家庭を支援する大学受験料等への支援事業の周知は適切か。今後学習支援事業の場でも案内を配布してみては。

答 **こども家庭部長**　チラシを郵送する等、保護者に届くよう周知をしている。今後、学習支援事業の場でも配架し、申請につながるよう努める。手続きの簡素化等は、他市の状況を調査し検討する。

公明党



鈴木　いくお

第6号

質問 緊急消防援助隊等とは、例えば大船渡市での山林火災における本市の活動が該当するのか。また他の事例があれば伺う。

答 **総務部長**　直近では、令和7年2月から3月にかけて発生した大船渡市の山林火災への派遣が該当する。その他、東日本大震災など大規模災害の際に、要請に基づき派遣している。

質問 著しく危険な区域とはどのような場合をいうのか。事例があれば伺う。

答 **総務部長**　国に準じて、災害対策基本法等に基づき、立入禁止、退去命令等がなされた区域を想定している。大船渡市の山林火災では、避難指示が出ていた区域内の活動が該当すると考えられる。

第11号

質問 放課後ルームの空き時間を活用した施策である。私が市長であれば最優秀アイデア賞を差し上げたいくらいだが、通常利用が4時間で1万円であれば、17時から19時の2時間利用は5千円が妥当ではないか。なぜ6千円であるのか伺う。

答 **生涯学習部長**　17時から放課後ルームを利用する場合、最大利用可能時間が50％程度であることから、おやつ代を除いた児童育成料の50％の4千円におやつ代2千円を加え、6千円と設定した。

第13号・第14号

質問 東西南北それぞれの議案にすれば小さな事業者も参入できたのではないかとの考えがあるが、どのような考えで北部・西部と南部・東部に分けたのか。

答 **企画財政部長**　これまでの電子黒板

の契約等を参考に地域を2つに分けた。

清風会



杉川　浩



鈴木　和美

第1号

質問 **水泳指導業務の委託について、プール施設へのバス送迎は受託業者が別の事業者に依頼する場合がある。送迎を担う事業者へ教育委員会はどう安全管理を求めるか。児童が安全にプールに臨めるよう、予定される拠点プールの運用も含め、今後の送迎時の安全対策を伺う。**

答 **学校教育部長**　運転者の運転免許資格及び運転経験、運行ルートを事前に提出させるとともに、運転手の健康状態やアルコールチェック、車両の点検状況等の確認を依頼する。また、乗降時の確認や置き去り防止のため教職員が同乗し人数確認等を行う。児童の送迎に関する統一的な安全基準や運行管理の仕組みの整備は、国・県からの通知を遵守するように周知していく。

第24号

質問 **教育委員は市民や保護者の立場から疑問を投げかけ、政策の改善を求める役割がある。この4年間でその役割を十分に果たしたと判断しているか。**

答 **市長**　教育委員会は市長から独立した執行機関であるため、市長は委員に対し特定の行動を要求する等の指揮監督権限はない。そのため委員個人の役割をチェックすることはないが、積極的に発言する等役割を果たしてきたと考える。

質問 **教育委員を任命した後は、その後の活動や実績に関心も責任も持たないのか。任命権者としての見解は。**

答 **市長**　そのような認識はなく、常に教育は重要と考えている。新たな視点を取り入れる考えもあったが、教育行政の推進に有益と判断し再任した。

日本共産党



金沢　和子

第5号

質問 **北本町2丁目の保育園前で道路陥没が発生した。国が八潮市で発生した道路陥没を受け全国に要請し、本市も実施した点検では今回の箇所は対象外だった。陥没の原因をどう捉えているか。**

答 **下水道部長**　汚水幹線と取付管の接合部に不具合が発生し、地下水が侵入したことが原因の一部と考えている。

質問 **再発防止のため、同様の管渠の点検をすべきではないか。**

答 **下水道部長**　陥没箇所の上流・下流域で緊急調査を実施し、不具合等は確認されなかった。市内で同様の施工方法を採用した箇所もできるだけ早く調査できるよう検討していく。

質問 **できるだけ早くとは、どのようなスケジュールの予定か。規模によっては来年度予算にも計上すべきでは。**

答 **下水道部長**　同様の施工方法により管路が地中接合している箇所が市内約600箇所あると考えられ、現在、抽出作業を行っている。管路施設を早急かつ計画的に調査できるよう検討していく。

第6号

質問 **家庭系可燃ごみの収集体制は8台が委託、28台が市直営である。この28台は災害時に対応ができるが、28台で十分という根拠は。災害時も平常時と同じように収集できるのか。**

答 **環境部長**　民間活力の活用と災害時等も含めた安定的な収集体制を維持する観点で検証を行った結果、現在の収集体制としている。災害時は規模にもよるが、まずは週2回の昼間収集、大規模災害では週1回の収集を計画している。

飛翔



今仲　きいこ

第11号

質問 **本議案は、17時まで船っ子教室で過ごした児童が、17時以降は放課後ルームの「ショート利用区分」を利用することで居場所を確保するものだが、下校後の船っ子教室への入室確認の仕組みや、途中退出・無断退出の対応など安全管理への不安から通常利用の放課後ルームを選ぶ保護者がいる。また長期休業中の利用を希望する保護者もいるが、各対応は。**

答 **生涯学習部長**　今年度から船っ子教室と放課後ルームが同一の所管となり、臨時休室等については同様の判断・対応を行っている。また、船っ子教室における習い事等による一時的な退出については、来年度の実施に向けて検討している。長期休業期間中に午前8時からの利用を必要とする児童は放課後ルームで預かるが、待機児童が発生する場合には、必要に応じて船っ子教室の開室時間を午前9時から8時に早めるなど対応していく。

認定第9号

質問 **令和7年度決算の純損失は約13億7千万円となった。予算と決算を比較すると、医業収益は予算額を約11億円下回っている。一方、医業費用についても、決算額は予算額を約12億円下回っている。主な要因は。**

答 **副病院局長**　医業収益について、予算では患者数、診療単価をコロナ禍前の実績や過去の単価の推移を参考に見込んだが、入院・外来ともに予算時の見込みを下回った。医業費用については、材料費で約9億2千万円、経費で約1億5千万円、給与費で約1億4千万円不用額が生じた。

各委員会の審査報告

委員会付託された議案等を専門的に話し合い、委員会としての結論を本会議に報告します。本ページでは、その一部を紹介します。

予算決算委員会



認定第1号
決算の認定について（一般会計）

議案の概要は3ページに掲載。

認定

◆厳しい社会的背景の下、会派の予算編成に関する要望書や議会内における質疑等を通じた主張が随所に反映されたと評価する。物価高や人口動態の変化、インフラの老朽化など対応すべき課題は山積しているが、庁内や関係機関とのより密接な連携によって、社会的孤立を防ぎ、誰一人取り残さない温かな福祉の充実と防災力の強化、持続可能な行財政運営の推進を強く要望する。

◆物価や資材等の高騰により難しい中での行政運営だったと思うが、第3次総合計画基本構想の将来都市像の実現のために、各分野で取り組めていた。病院建設や市場の冷蔵庫棟の問題など、避けては通れない問題も、決断し、進めなくてはならない。そのためには、職員体制の強化やノウハウの蓄積を含め、外部コンサル等に頼ることなく、思いを持った職員の力を信じることが大切である。市長の強いリーダーシップの下、行政としてやるべきこと、行政でなくてはできない支援の実施を要望する。

◆見直すべきと考える医療センター移転建て替えが入札不調で止まっており、多額の費用が決算に含まれていなかったので賛成する。また、日本全国で7自治体しか応募しなかったペネトレーションテストに参加した本市の積極的な施策にプロ意識を感じ、高く評価する。

不認定

◆令和7年度に市が行った市民への暮らしの支援は、食料品の物価高騰対策として、市民1人4千円と低所得世帯に1万円の支給、住民税非課税世帯等エアコン購入費助成金を1世帯10万円限度で支給、物価高対応子育て応援手当を児童1人2万円支給などがあったが、いずれも国庫支出金の範囲内の事業だった。市単独事業は、文化芸術鑑賞への助成を新規で行ったくらいだった。令和7年度決算剰余金積立後の財源調整基金は243億円超ある一方で、長引く物価高騰に苦しむ市民への暮らしの支援は乏しく、今あえいでいる市民に手を差し伸べ、住民の福祉増進にかなう市政執行ではなかった。

採決結果　賛成多数で認定

総務委員会



議案第6号
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

一般技能員及び給食調理員の採用に当たり給料表を改めるとともに危険作業手当について所要の改正を行うものです。

賛成

◆可燃ごみ収集員及び給食調理員の採用に当たっての改正であり、本市におけるそれらの職員の採用は、積極的に行ってしかるべきものである。また、危険作業手当の上限引上げも当然のことと考え、賛成。

◆市民生活に必要な行政サービス、活動を行うための議案であり、賛成。

◆今、顕在化している課題に対し、1日も早く改善していただきたいと思うこともあり、改善策の1つということで賛成はする。ただし、ここで終わらずに、人事という部分で、これから先をしっかりと見据えた採用に繋げていっていただきたいということを要望する。

採決結果　全会一致で可決

健康福祉委員会



議案第12号　船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事請負契約の締結について

船橋市立リハビリテーション病院の空気調和設備等の損耗や劣化に伴い、空調設備その他改修工事について契約を締結するものです。

賛成

◆必要な工事なので賛成する。患者を受け入れながらの工事であるため、安全にはくれぐれも注意して進めていただきたい。また、同じ時期に外壁、屋上防水や電気設備の工事なども行う可能性があることが質疑の中で分かったが、それにより病院の運営にさらにいろいろな影響が出てくると思われるため、そこについては法人と本当に丁寧にやり取りをしていただきたい。

採決結果　全会一致で可決



市民環境経済委員会



発議案第5号
物価高騰、暮らしの危機打開のため経済政策の転換を求める意見書

賛成
◆相次ぐ災害等により大きな負担がかかっている中、物価高騰により、今まで何とか頑張れていた方も追い詰められている。本市内でも8月13日の豪雨災害で、多くの方がつらい思いをされている。今、意見書を国に出し、国が給付や社会保険料の引下げに尽力することが、多くの方の支えになると考える。
◆消費税について、食料品は2年間、政府方針より4％高くなるが、おしなべて考えると全品目について5％に軽減することで、家計の負担は減少する。また、賃上げと中小企業者等に対する支援を同時に行えば、中小企業者等にだけしわ寄せがいくことはないと考える。

反対
◆全体的なことは賛成だが、最低賃金について速やかに1千500円にした場合、雇用を継続できなくなる事業者が多く出る心配がある。先に社会保険料を下げるなど、整えなくてはならないことがあり、慎重に進めていただきたく、反対。

採決結果　賛成少数で否決

建設委員会



議案第10号
船橋市景観条例の一部を改正する条例

景観法の一部改正に伴い、条例の引用条文を改正するものです。

賛成
◆本市は人口が微増している自治体で、東京のベッドタウンでもあり、にぎやかで魅力的な商業施設もたくさんある。ともすると今回の法改正の中身にある事業は、あまり該当しないように見えるかもしれない。しかし、本市には大きな地域差がある。固有の魅力を守り、残し、地域の活性化を図るべきエリアもあると思う。地域の魅力創出は行政だけがするものではなく、そこに住む住民、土地や建物の所有者などが一丸となった機運の醸成が欠かせない。その上で、活用できる事業が新しくできたことを念頭に置きながら、魅力ある本市のまちづくりを進めようとする市民をナビゲートしていただくことを要望し、賛成。
◆景観法の改正により、項と号がずれたことによる改正のため賛成。

採決結果　全会一致で可決

文教委員会



議案第11号
船橋市放課後ルーム条例の一部を改正する条例

議案の概要は3ページに掲載。

賛成
◆放課後ルームの待機児童が発生している中で、17時時点で空いている4割を活用することは、17時から19時までの時間帯の受入れを必要とする児童生徒が一定数いることが十分考えられるので、児童の居場所づくり及び安全確保の意味で大いに賛同する。今後、課題がいくつかあると思うが、1つ1つ解決しながら有効に進めていただくことを要望し、賛成。

採決結果　全会一致で可決

請願第1号
すべての子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願

不採択
◆請願事項の多くのことが既に取り組まれていると認識しており、また、請願事項1の30人以下学級については、市独自でとされているが、国として取り組むべきと考えることから、不採択。

採決結果　賛成少数で不採択

広報委員会



陳情第24号
「広報ふなばし」と「議会だより」の同封配布に関する陳情

不採択
◆願意に、行政と議会との共同企画の特集記事を組むとあるが、市議会だよりは、定例会や臨時会の概要をはじめ、各委員会の活動や市議会全般にわたる活動をお知らせする広報紙であり、その発行には大変重要な意義があるため、まずその点で賛成できない。現状、市議会で何が行われているのかを市民にお伝えし切れていないこともあり、市議会の意義をご理解いただけていない市民の方が少なくないことも、残念ながら事実である。それらの結果が、投票率や主権者意識の低下の一因と考えられることから、日本の民主主義を守る上でも、市議会だよりの全戸配布は継続すべきである。

採決結果　賛成者なしで不採択



議案の議決結果

○－賛成　×－反対

付託委員会	議案番号	件名	会派							無所属				議決結果
			市民民主連合	公明党	結	清風会	日本共産党	飛翔	市政会	※1	※2	※3	※4	
予算決算	議案第1号	令和8年度船橋市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第2号	令和8年度船橋市国民健康保険事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第3号	令和8年度船橋市公共用地先行取得事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第4号	令和8年度船橋市介護保険事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第5号	令和8年度船橋市下水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	認定第1号	決算の認定について（一般会計）	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	認定
	認定第2号	決算の認定について（国民健康保険事業特別会計）	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	認定
	認定第3号	決算の認定について（公共用地先行取得事業特別会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定第4号	決算の認定について（船橋駅南口市街地再開発事業特別会計）	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	認定
	認定第5号	決算の認定について（介護保険事業特別会計）	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	認定
	認定第6号	決算の認定について（母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定第7号	決算の認定について（後期高齢者医療事業特別会計）	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	認定
	認定第8号	決算の認定について（地方卸売市場事業会計）	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	認定
	認定第9号	決算の認定について（病院事業会計）	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	認定
	認定第10号	決算の認定について（下水道事業会計）	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	認定
総務	議案第6号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第7号	船橋市吏員恩給条例の一部を改正する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第8号	船橋市議会議員及び船橋市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第15号	船橋市本庁舎1階特定天井改修工事請負契約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第16号	（仮称）船橋市消防局・消防指令センター新築機械設備工事請負契約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第24号	教育委員会委員任命の同意を求めることについて（蓮池政貴氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	発議案第1号	自衛隊中央情報隊による個人情報収集活動についての全容解明と説明を求める意見書	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×	○	否決
	発議案第2号	国旗損壊罪処罰法の廃止を求める意見書	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×	○	否決
	発議案第3号	災害対策と被災者支援の抜本的な強化を求める意見書	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	否決
	発議案第4号	女性天皇・女系天皇実現への道を開く皇室典範改正を求める意見書	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×	○	否決
健康福祉	議案第12号	船橋市立リハビリテーション病院空調設備その他改修工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第21号	船橋市立リハビリテーション病院の指定管理者の指定の期間の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
市民環境経済	議案第9号	船橋市認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	発議案第5号	物価高騰、暮らしの危機打開のため経済政策の転換を求める意見書	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	否決
建設	議案第10号	船橋市景観条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第22号	市道の路線認定及び変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第23号	区域外市道の路線の認定を承諾することについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第25号	二和東5丁目道路改良工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
文教	議案第11号	船橋市放課後ルーム条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第13号	令和8年度特別教室・特別支援学級電子黒板導入（北部・西部）物品供給契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第14号	令和8年度特別教室・特別支援学級電子黒板導入（南部・東部）物品供給契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第17号	船橋市立海神中学校校舎建替工事請負契約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第18号	船橋市立海神中学校校舎建替電気設備工事請負契約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第19号	船橋市立海神中学校校舎建替機械設備工事請負契約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第20号	船橋市立宮本中学校校舎建替工事請負契約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	発議案第6号	中学校給食の「完全無償化」を求める意見書	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	否決

所属会派の○×と異なる議員
- 議案第24号 ……清風会の島田たいぞう議員、杉川浩議員は退席
- 発議案第1号……飛翔の今仲きいこ議員は○
- 発議案第2号……市民民主連合の川井洋基議員、神田廣栄議員は×、飛翔の今仲きいこ議員、齊藤和夫議員は○
- 発議案第3号……飛翔の今仲きいこ議員は○
- 発議案第4号……市民民主連合の中谷あやの議員、池沢みちよ議員、川井洋基議員、浦田秀夫議員は○、神田廣栄議員は退席
- 発議案第6号……市民民主連合の池沢みちよ議員、浦田秀夫議員は○

請願・陳情の議決結果

○－賛成　×－反対

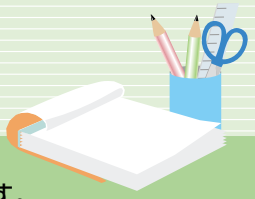
付託委員会	受理番号	件名	会派							無所属				議決結果
			市民民主連合	公明党	結	清風会	日本共産党	飛翔	市政会	※1	※2	※3	※4	
総務	陳情第13号	船橋市内の神社仏閣に対する防犯・防災設備支援に関する陳情	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
	陳情第14号	AIの国産開発の促進を求める意見書提出に関する陳情	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	不採択
	陳情第15号	「小選挙区制廃止、中選挙区制か比例代表制に移行に関する意見書」提出に関する陳情	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	不採択
健康福祉	陳情第16号	介護人材関連補助金における支出内容及び外国人介護人材受入れ経緯の透明化を求める条例制定についての陳情	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
	陳情第17号	男性に対する骨粗鬆症検診の公費助成および検診対象拡大を求める陳情	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	採択送付(注)
	陳情第18号	安全不安・不衛生・醜観の改善を目的とした「犬の散歩時の排尿ガイドライン改正」に関する陳情	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
	陳情第19号	医療センターの海老川上流地区（災害ハザードエリア）移転の見直しを求める陳情	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	不採択
建設	陳情第20号	公園のルールに関する陳情	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	採択送付(注)
	陳情第21号	道路整備に関する市民向け広報の充実を求める陳情書	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	不採択
文教	請願第1号	すべての子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	不採択
	陳情第22号	辺野古ボート転覆死亡事故の反省を踏まえ、学校教育における修学旅行など課外活動の安全徹底を求める意見書提出に関する陳情	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	不採択
広報	陳情第23号	「議会だより」の紙質（上質紙）を「広報ふなばし」と同じ（再生紙）にする陳情	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	不採択
	陳情第24号	「広報ふなばし」と「議会だより」の同封配布に関する陳情	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択

（注）「採択送付」とは、採択された請願や陳情のうち、執行機関で措置することが適当と認めたものについて、所管する執行機関に送付するものです。

所属会派の○×と異なる議員
- 請願第1号 ……市民民主連合の池沢みちよ議員、浦田秀夫議員は○
- 陳情第19号……市民民主連合の中谷あやの議員、池沢みちよ議員は○

※1～※4の議員名については、9ページの「会派の構成」をご参照ください。

閉会中の委員会報告



議会の閉会中においても、所管に係る懸案事項などについて調査研究をします。
前定例会閉会後から今定例会開会前までに開催された各委員会の活動を報告します。

議会運営委員会



第３回定例会に関して、会期や審議日程、提出される議案等の審議方法、一般質問の順序等について協議・決定しました。

８月24日 会議
・第３回定例会の審議日程等について

総務委員会



埼玉県川口市を視察し、女性消防吏員の活躍推進の取組について、担当者から現状や女性消防長誕生に至る経緯、離職を防ぐ取組等の説明を受け、質疑を行いました。その後、川口市東消防署内における仮眠室等の女性用施設を見学しました。また、多文化共生の取組について、担当者から外国人住民の現状と課題等の説明を受け、質疑を行いました。

７月14日 視察
・**川口市**（女性消防吏員の活躍推進の取組について／多文化共生の取組について）



川口市での視察の様子

健康福祉委員会



船橋市立リハビリテーション病院において、指定管理者から地域リハビリテーション推進の取組について説明を受け、施設内を見学した後、質疑を行いました。
また、同日の会議では、法人の経営状況報告については参考人から説明を受け、指定障害児通所支援事業者の行政処分については所管課から報告を受け、それぞれ質疑を行いました。

７月８日　視察
・**市内視察**（船橋市立リハビリテーション病院）
７月８日　会議
・法人の経営状況報告について
・指定障害児通所支援事業者の行政処分について



市立リハビリテーション病院での視察の様子

広報委員会



市議会だより268号の掲載内容、議会を周知するポスターのデザイン、市議会見学会の際に使用する資料及び市立船橋高等学校への出前講座の実施日等について、協議・決定しました。また、行政視察について、協議を行いました。

６月29日 会議
・令和８年第２回定例会市議会だより268号について
・議会を周知するポスターのデザインについて
・夏休み市議会見学会について及び広報委員会の検討事項について
・高校への出前講座について
・行政視察について
・その他（本庁舎１階の市議会だよりラックの活用について／次回の広報委員会について）
８月18日・19日 市議会見学会
※詳しい開催内容は16ページをご覧ください。

会派の構成

（令和8年10月5日現在）

市民民主連合
大沢たかのり
岡田とおる
高橋けんたろう
川井洋基
神田廣栄
中谷あやの
池沢みちよ
三橋さぶろう
浦田秀夫
斉藤誠

公明党
葛生正文
上田美穂
木村修
橋本和子
鈴木いくお
草場智泉
鈴木心一
松橋浩嗣
松嵜裕次

結
米原まさと
市川たけし
藤代清七郎
いとう紀子
青木はるか
林としのり
小平奈緒
浅野賢也

清風会
島田たいぞう
七戸俊治
鈴木和美
杉川浩
滝口宏

日本共産党
かなみつ理恵
松崎さち
岩井友子
神子そよ子
金沢和子

飛翔
かいさち
佐藤つぐみ
大沢ひろゆき
今仲きいこ
齊藤和夫

市政会
滝口一馬
渡辺賢次
日色健人

無所属
はまの太郎 ※1
佐々木克敏 ※3
三宅けいこ ※2
朝倉幹晴 ※4

一般質問

市の一般事務に関して、事務の執行状況、将来の方針等の所信や疑問をただし、あるいは報告や説明を求めるものです。一般質問は、9月7日～11日に行われました。

企画・財政

南船橋駅前市有地の騒音問題



日本共産党　松崎　さち

質問 市有地の商業施設らテラスの室外機の騒音に周辺住民は長く苦しんでいる。三井不動産は防音壁の設置を恐らく計画段階から検討していたが、当時から住民に情報を公開すれば防げたのでは。

答 **企画財政部長**　町会・自治会等と意見交換や進捗報告等を行ってきた。

「出向く窓口」の構築



公明党　葛生　正文

質問 出張所と本庁舎をオンラインで結び、移動困難者等の専門的な相談や申請を支援する「出向く窓口」の仕組み構築や、専用端末の返却後における今後の継続・実施方針について市の見解を伺う。

答 **総務部長**　リモート窓口については、旧システムがサービス終了となったことに伴い、既に利用していた全庁的なシステムへ統合した。職員が内部事務で日常的に使用するパソコンから出張所への接続が可能となり、引き続きリモートでの窓口対応を行うことができる。

インフレ下での財政運営



市政会　日色　健人

質問 インフレーションが進む中での財政運営について、①将来財政推計は将来の物価上昇率など経済情勢の変動を見込んでいるのか、②インフレが進む分だけ財源調整基金や減債基金が目減りすることにならないか、③一方、金利がつくことから基金の運用について目標を定めて行う必要があるのではないか。

答 **企画財政部長**　令和8年度版の将来財政推計では、賃金や物価などの伸びを考慮して作成している。インフレが進む中では、議員ご指摘の通り、実質的に基金が目減りすることとなるため、必要となる基金の残高も、状況を踏まえ見直しが必要になる場合もあると考えている。基金の運用については、事前に目標を定めることは難しいものと考えているが、金利が上昇傾向にあることから、信用性を踏まえたうえでより有利な方法を選択し、運用益の確保に努めていく。

キャッシュレス化の進捗は

質問 各種手続きにおけるキャッシュレス化の進捗を把握し、市として推進する体制になっているか。

答 **総務部長**　キャッシュレス決済の導入の判断は、各事業の実情を踏まえ、所管する部署が行っている。このため、全庁一律にキャッシュレス化を進める体制とはなっていない。

質問 次期船橋市DX推進計画におけるキャッシュレス化の推進についてはどのようなものとなるか。

答 **総務部長**　市民の利便性向上と行政の効率化につながる取り組みとなるよう、次期計画での位置づけを検討していく。



便利なキャッシュレス決済

生成AIを活用した行政改革



結　米原　まさと

質問 市としてAIをどう捉えるか。

答 **柳生副市長**　行政サービスを維持・向上させる重要なツールと認識している。

質問 次期船橋市DX推進計画における生成AIの位置づけはどう考えているか。

答 **総務部長**　業務効率化や市民サービス向上の重要な手段と位置づけを検討中。

質問 市民と必要な行政サービスを24時間繋げられるよう、生成AIを活用した市民向け案内サービスを行う考えは。

答 **総務部長**　市HPにAI機能を搭載したサイト内検索の導入を検討している。

サイバーセキュリティ対策



結　青木　はるか

質問 生成AIの急速な発展により、攻撃する側は簡単に高度なサイバー攻撃を仕掛けられるようになったが、この状況を市はどう認識しているか。また、職員向けにどのような情報セキュリティ研修を行っているのか。

答 **総務部長**　市としても重要なリスクと認識している。情報セキュリティ研修については、情報セキュリティ対策基準において全ての職員が定期的に受講するよう規定されており、それぞれの役割に応じた研修等を実施している。

公共施設の建て替え



結　林　としのり

質問 本市の公共施設の多くは同時期に建設されたため、建て替え時期が集中している。どのように取り組んでいくか。

答 **企画財政部長**　優先度を設け、建て替え工事の平準化を図っていきたい。

猛暑下の労働環境と処遇



清風会　杉川　浩

質問 猛暑下で勤務する職員の実態を把握しているか。また、従来以上に危険性や負担を伴う勤務になっていることをどのように認識しているか。

答 **総務部長**　所属を問わず現場で従事しており、近年の猛暑による負担が今までとは異なる水準であると認識している。

質問 処遇改善を人材確保や職員定着等の観点から検討すべき。また、現場の声を把握するための調査を行うべきでは。

答 **総務部長**　社会情勢を注視し研究する。また、職員の意見を聴取していく。

防災

災害時の地域への情報伝達

清風会　**鈴木　和美**

質問 情報伝達の手段として町会・自治会の掲示板を活用してはどうか。

答 **市長公室長**　地域の実情もあるため、避難所運営委員会などと意見交換を行う。

災害への対応・対策



日本共産党　**岩井　友子**

質問 千葉豪雨で夜間収集の委託業者3社のごみ収集車が5台水没した。各部局の情報を早い段階で集約し、集団検討すれば、早く判断でき防げたのでは。

答 **市長公室長**　情報を一元化し、早い段階から情報共有する仕組みを検討する。

質問 防災テントの備蓄や、ＴＫＢ48といわれる雑魚寝やパンばかりの食事の解消、不衛生なトイレの改善への考えは。

答 **市長公室長**　引き続き、避難所における生活環境の改善に向け取り組む。

避難所運営



飛翔　**佐藤　つぐみ**

質問 昨年の総合防災訓練でのデジタル受付試験導入の効果と、検討状況は。

答 **市長公室長**　昨年の主会場での訓練では、紙との併用で円滑に受付できた。今年度は実施会場を拡大し、受付情報を集約する等運用面も併せて検証予定。

質問 ペット専用の室内受入エリアや同室避難場所の確保について、見解は。

答 **市長公室長**　居住区との分離や避難スペース確保の観点から屋内の専用エリア設置は難しいが、必要に応じ、避難所運営委員会と施設管理者で協議する。

ハザードマップ・休校決定日



無所属　**朝倉　幹晴**

質問 8月の千葉豪雨の夜、私がHPに緊急掲載したハザードマップに多くの方がアクセスした。停電時にも使用できるよう地区別のマップを紙で配布しては。

答 **市長公室長**　希望者には配布しているが、より効果的な周知方法を検討する。

質問 9月豪雨時、近隣市は前日に学校の休校を決定した。本市も当日朝ではなく前日にとの市民の声が多く見られる。現状の休校基準を見直すべきでは。

答 **学校教育部長**　調査・研究する。

千葉豪雨の対応と水防強化



市民民主連合　**三橋　さぶろう**

質問 人命捜索済みや故障を知らせるため、他市では動けなくなった車両にシールやリボンなどで目印を付けていた。本市でも実施をした方が良かったのでは。

答 **消防局長**　車両への標示は、情報共有を図るうえで有効で効率的である。標示方法の統一など関係機関と協議したい。

質問 本市には水防団がないが、新たな水害を防ぐための具体的な対策は。

答 **消防局長**　水防に関する訓練や装備の充実が必要と認識している。今回の活動を踏まえ、消防団と協力し強化を図る。

町会・自治会館の避難所活用



市民民主連合　**浦田　秀夫**

質問 住民に身近な町会・自治会館を避難所として活用することについて、昨年の第3回定例会で、「もう少し時間をとって検証した上で、市民を確実に守れる体制か結論を出したい」との答弁があったが、どのような結論を出したのか。

答 **市長公室長**　町会・自治会館は、自宅近くの一時的避難や在宅・車中泊者への支援拠点として有力な選択肢になる。実施にあたっては、町会・自治会などの意見を踏まえ、具体的な運営体制・周知方法を整理し、活用を検討していく。

被災者に行き届いた支援を



公明党　**鈴木　心一**

質問 市は千葉豪雨の被害を罹災証明の申請で把握しているが、浸水を軽微と判断し申請しない、制度を知らない等のサイレント被害者がいた。市の的確な取り組みのため、正確な被害状況把握が必要では。また、今後明確になる義援金も含め、床下浸水に遭った方を慮った検討や、雨水整備計画の前倒しなど被害の軽減に資する手を打つことを強く要望する。

答 **市長公室長**　浸水が集中した周辺世帯へ聞取りし、潜在的な被害者の把握を行っている。引き続き状況把握に努める。

生活・安全

自転車に関する交通ルール



無所属　**はまの　太郎**

質問 青切符の対象となる違反の種類などをよりわかりやすく広報しては。

答 **市民生活部長**　動画等による周知も含め、警察と連携して検討していく。

制度ボランティアの選定方法



無所属　**佐々木　克敏**

質問 町会・各関係団体等の負担軽減のため選定方法について、所管部署を中心に全庁で検討し整理すべきでは。

答 **市民生活部長**　実態の整理を進める。

子育て・健康・福祉

医療的ケア児・者等への支援



公明党　**草場　智泉**

質問 市の窓口に専門的な知識を持つ人材を配置するなど、相談支援体制を強化できないか伺う。

答 **地域子育て部長**　窓口の役割を担う医療的ケア児等コーディネーターについ

て研修等によりスキルアップを図り、法改正後の他市の状況を踏まえ研究する。

質問 家族の負担軽減に向け、短期入所の受け皿を増やせないか伺う。

答 **福祉サービス部長**　市内の短期入所事業所に対し、市独自の補助制度を周知し、県と引き続き連携していく。



スマートスピーカーで見守り

公明党　木村　修

質問 外部からエアコンなどの制御ができる仕組みを支援してはどうか。

答 **高齢者福祉部長**　現在の緊急通報装置貸与事業を着実に実施し、先進自治体の動向や進化するICT技術を注視する。



高齢者等のスマート介護支援



こどもの自殺対策

公明党　松橋　浩嗣

質問 本年4月施行の「自殺対策基本法の一部を改正する法律」に基づき「こどもの自殺対策に係る法定協議会」が地方公共団体に設置できるが、船橋市の取り組み状況はどうなっているのか。

答 **健康福祉局長**　当該協議会は、自殺の危険性が高いこどもの個人情報等を外部機関と共有する場となるため、構成者の選定や運営方法等、設置に当たっては慎重を期す必要がある。今後、先駆的な自治体の状況を調査・研究しながら、関係部署と連携し検討を進める。



災害時の子育て支援

清風会　鈴木　和美

質問 災害時にできるだけ早い休校・休園の見通しを示すこと、子どもの居場所を確保することの2つを一体的に考えた新たな仕組みを検討していくべきでは。

答 **地域子育て部長**　臨時休園の判断基準や災害時の子どもの受入れについて、他市の基準等を調査・研究する。

答 **学校教育部長**　休校の判断は気象庁の時系列情報を参考にするとともに、学校現場の実態等を把握し、協議を進める。

答 **生涯学習部長**　災害時等の児童の居場所づくりは、放課後ルーム等の活用の課題について関係部署と協議・検討する。



市難病患者援助金制度の変更

日本共産党　神子　そよ子

質問 支給額を半減せずに制度を拡充した場合の予算を伺う。

答 **保健所理事**　約2900万円の増額。

質問 少なくとも月額5千円を維持し、登録制による定額支給を実施すべきでは。

答 **林副市長**　必要な施策充実に努める。

水害による浸水への緊急支援

質問 床下乾燥のため、他市のように扇風機等を無償貸し出しすべきでは。

答 **保健所理事**　関係部局と検討する。



児童発達支援センターの役割

飛翔　今仲　きいこ

質問 「とらのこキッズ」「さざんかキッズ」の両施設は、支援センターとして通園児のみならず地域の相談等障がい児支援の中核的な役割を担うが、相談・支援件数は少ない。こども発達相談センターに相談が集中する現状を踏まえ支援センターで、より相談を受けられないか。

答 **地域子育て部長**　支援センターが担う地域相談等は、地域全体の障がい児支援体制の充実を図る上で重要と認識している。引き続き法人と協議していく。



ほっとスペース「けやき」

無所属　三宅　けいこ

質問 教育委員会や学校の下ではない不登校の子どもの居場所として、9月1日に高根台児童ホーム内に開設した。より知ってもらえるよう、商業施設で子どもの目につく所にチラシを配架する等さりげなく、かつ積極的に広報できないか。

答 **地域子育て部長**　学校から家庭に通知表等を届ける機会を活用し、直接チラシを届けている。また、市の情報メールや広報ふなばしで周知しているが、他の周知方法も検討していく。



旅館業・民泊

市民民主連合　中谷　あやの

質問 建築基準法違反の2施設について、旅館業許可時になぜ接道義務違反を把握できなかったのか。経緯を伺う。

答 **保健所理事**　建築確認を要しない規模であると建築基準法の担当課と共有していたが、違反との認識はなかった。

質問 違反2施設は、現在も営業しているが、是正状況と今後の対応を伺う。

答 **建築部長**　6月に違反を確認。経緯や是正方法を事業者に確認していく。



女性支援法の活用策

市民民主連合　池沢　みちよ

質問 こども家庭センターのチラシでは目に留まりにくい。苦しみ悩む女性が行政と繋がれるようSNSを活用しては。

答 **こども家庭部長**　これまでの周知に加えSNSでの効果的な発信を検討する。



宿泊型産後ケア施設の拡大

市民民主連合　斉藤　誠

質問 宿泊型産後ケア事業は、分娩施設と助産院の両方から選択できるよう改善する必要があると考えるが、見解は。

答 **健康部長**　夜間を含めた緊急時の体制を十分に確保しながら検討していく。



環境

宅配ボックス購入費補助

公明党　橋本　和子

質問 国の政策転換・県警の統計変更・市民ニーズを踏まえ、環境・物流・防犯の観点から宅配ボックス購入費補助を。

答 **環境部長**　宅配ボックス設置は、置き配と同様に温室効果ガス削減や宅配業者の負担軽減につながるため、必要性や導入した場合の効果を含め検討する。

自然環境や動植物の保全保護

結　藤代　清七郎

質問 市自然環境調査の目的にある「市の貴重な自然や希少な保護すべき動植物」を保護する具体的な取り組みや、多種多様な外来種の脅威への対策を伺う。

答 **環境部長**　谷津田の保全に向け、地権者や市民団体・事業者等との協定締結等の仕組みづくりを検討していく。外来種対策は、マニュアルを作成するとともに、アライグマ等への防除事業を継続しつつ、生物多様性の保全上重要な場所を中心に、ナガエツルノゲイトウ等の外来種の植物の駆除を実施していく。

災害廃棄物の仮置場

結　林　としのり

質問 被害想定を超える災害に備え、災害廃棄物の仮置場をさらに増やす必要があると考えるが本市の見解を伺う。

答 **環境部長**　関係部署と調整を図りながら適切な候補地を検討していく。



災害廃棄物仮置場訓練の様子

ごみ収集ステーションの管理

飛翔　佐藤　つぐみ

質問 ごみ収集ステーションの維持管理に対する補助制度の新設を求める。

答 **環境部長**　設置位置や規模等が様々で公平性の観点から補助金の交付は考えていないが、他市の動向を注視する。

プラスチックごみの再資源化

飛翔　齊藤　和夫

質問 市は「プラスチックを再商品化する際に排出される温室効果ガスと、焼却する際の排出量に大きな差がなく、費用対効果も考慮して、清掃工場で焼却し発電を行うサーマルリサイクルを採用している」と繰り返し説明してきた。新たにプラスチックを製造する際も温室効果ガスは発生するが、再商品化により新たな製造を回避することによる温室効果ガス削減効果は、比較の際に評価したのか。

答 **環境部長**　新たに製造しないことによる削減効果は、評価に含まれていない。

質問 市一般廃棄物処理基本計画では、プラスチックの分別収集を行うための選別梱包施設の建設費を約37億円としているが、市が施設を建設することが不可欠であると現在も考えているのか。

答 **環境部長**　民間事業者と連携した取組も、有力な方法として認識している。



船橋市は現在、ペットボトルのみ分別収集

自然環境調査と生物多様性

清風会　島田　たいぞう

質問 船橋市自然環境調査報告書の中で、今後10年間で重点的に保全する場所を自然共生サイトに推薦しては。

答 **環境部長**　自然共生サイトの増加に資する取り組みを進める。



船橋馬込霊園奥の馬込谷地・北谷津川

まちづくり

雨水対策

無所属　佐々木　克敏

質問 8月の千葉豪雨による浸水被害を受けて、雨水整備計画の優先整備地区を新たに追加する考えはあるのか。

答 **下水道部長**　浸水要因や排水施設の調査を進め、今後の対応を検討する。

千葉豪雨への対策

市民民主連合　川井　洋基

質問 県事業の海老川調節池が完成す

るまでの間、下流域の耕作放棄地を「田んぼダム」として活用できないか。

答 **下水道部長**　「田んぼダム」も含め、浸水被害の軽減策を幅広く検討していく。

危険な横断歩道の放置

質問 木下街道の横断歩道の消えかかったゼブラマークが1年以上放置されている。市からも警察へ強力な申し入れを。

答 **道路部長**　昨年の要望後も修復されていないため、9月に改めて要望した。



木下街道の消えかけた横断歩道



道路冠水事故防止の取り組み

市民民主連合　高橋　けんたろう

質問 市のハザードマップに載っていない住宅街の生活道路にも冠水の危険箇所は多い。冠水しやすい場所を事前に把握できるマップの作成などを検討すべき。

答 **下水道部長**　アンダーパス以外にも谷底地形や窪地を通る生活道路は雨水が集まり、短時間で水位が上がる。冠水状況をリアルタイムで把握するシステムは経路の選択に有効だが、急な大雨は事前予測が難しく、現地で冠水を確認し進入を抑制することも重要。まずはリスクの高い箇所を示すマップの作成に取り組む。



都市計画道路3・4・27号線

市民民主連合　神田　廣栄

質問 土地の引渡しが一方的に来年8月まで延ばされた。相手方に対し、契約解除と違約金の請求をすべき。

答 **道路部長**　契約時点では予見困難な事由が生じたため、相手方の帰責性は無く、債務不履行にあたらない認識である。

質問 約12億円かけ、421㎡のみ市に所有権移転した。相手方が所有する残地に補償すべきものが残るのではないか。

答 **道路部長**　移転対象が明示された契約を締結しており、残地の建物等は解体されることを相手方に確認している。



豪雨への防災対策

公明党　橋本　和子

質問 市民を守るために早急に止水板設置費用補助と河川への水位計設置を。

答 **下水道部長**　調査・研究する。



調整池排水設備の点検と改修

公明党　上田　美穂

質問 千葉豪雨で制御盤が浸水し、排水ポンプが停止した箇所があった。市内全域の点検と改修を早急に行うべき。

答 **下水道部長**　改めて調査し、ポンプ制御盤を浸水しない高さへ設置していく。

公共工事現場の熱中症対策

質問 記録的な猛暑の昨今、真夏の現場作業を一定期間休みにする「夏季休工」の制度導入は必要と考える。市の見解は。

答 **都市計画部長**　猛暑日等の対応は重要と考え、国や県の試行状況を注視する。



雨水整備

公明党　松寄　裕次

質問 三山9丁目の浜田川雨水幹線は供用開始から約30年が経過し、8月の千葉豪雨でも浸水被害が発生した。被害状況の把握はどこまでできているか。

答 **下水道部長**　市民から寄せられた通報等から、床上浸水が発生したことを把握している。

質問 今後の台風被害等に備え、抜本的な排水対策が必要ではないか。

答 **下水道部長**　対策を講じる必要があると考える。現況を調査し、効果的な対策を検討していく。



設計積算と工事費の乖離

結　市川　たけし

質問 設計上は適正な金額であっても実際の市場環境から見て、施工困難な価格だと判断された場合の対応は。

答 **建築部長**　入札に参加した事業者や類似工事を受注している事業者にヒアリングを行い、原因を分析している。

質問 設計者の視点だけでは把握が難しい施工上の課題について、施工経験者の知見を取り入れる仕組みはあるのか。

答 **建築部長**　設計者が、専門工事業者への見積り徴取なども行い、現場に応じた施工条件を確認し設計に反映している。



児童・生徒数増加への対策

結　浅野　賢也

質問 海老川上流地区や船橋駅周辺では、大規模な開発により児童・生徒数の増加が見込まれる。学校施設の不足が生じる前に、教育環境を確保する必要がある。建設局と教育委員会が連携し、開発の規模や時期を事前に調整する仕組みを構築できないか伺う。

答 **都市整備部長**　大規模開発が行われる際には事業者から情報を入手次第、教育委員会等関連部署と共有している。今後も早い段階から関連部署と情報を共有し、適切な開発が進むよう努めていく。



緑の基本計画（素案）

清風会　島田　たいぞう

質問 本計画と農業振興計画・生物多様性ふなばし戦略の一本化はできないか。

答 **柳生副市長**　個別に策定し連携する。



特定利用空港・港湾

日本共産党　かなみつ　理恵

質問 国が千葉港を、特定利用空港・港湾（自衛隊や海上保安庁の円滑な利用に関する枠組み）の対象候補と検討している。指定されれば千葉港の関係市である本市も、有事の際に軍事目標となりか

ねない。これを広く市民に知らせるため、説明会の開催を国や県に求めるべき。また、市民が危険となることは反対すべき。

答 **下水道部長**　国や県に対し、市民や港湾利用者への説明を行う等の丁寧な対応を求めていく。


特定利用港湾の影響が懸念される商業施設と周辺地域

氾濫続く二俣川の治水対策を

日本共産党　**松崎　さち**

質問 市川市と協議して進めるべき。

答 **下水道部長**　必要性を認識している。

習志野地域の浸水対策

日本共産党　**金沢　和子**

質問 習志野地域には西習志野排水機場があり、すでに排水対策済みにも関わらず今年2回も浸水被害が発生した。市はこの地域の対策をどう計画しているか。

答 **下水道部長**　雨水整備計画に基づき、飯山満川1号幹線管渠整備を令和13年度の供用を目指して実施している。

質問 整備完了までの災害への対策として、浸水防止資器材の配備をしては。

答 **下水道部長**　吸水性土のうは、町会と調整しつつ試験的に取り組んでいく。

教育・文化

学校にも給水スタンドを

飛翔　**今仲　きいこ**

質問 柏市では全市立小中学校に水筒補充用の給水機を設置した。前回の質疑以降の導入に向けた検討状況を伺う。

答 **学校教育部長**　複数の給水スタンド設置事業者からヒアリングを行う等、導入について調査・研究を進めている。

生涯学習施設の和室の座椅子

無所属　**はまの　太郎**

質問 公民館以外の生涯学習施設にも和室に高座椅子を整備すれば、高齢者が利用しやすく和室利用も増えるのでは。

答 **生涯学習部長**　利用者ニーズを把握しながら必要に応じた整備を進めていく。

読み書きに困る児童生徒支援

市民民主連合　**大沢　たかのり**

質問 診断の有無にかかわらず、困難のある児童生徒を把握していく考えは。

答 **学校教育部長**　診断を受けていない児童生徒の実態把握も重要と認識し、来年度以降の調査は、内容や方法を含め幅広く状況を把握できるよう検討する。

質問 教職員や保護者が、支援の流れや具体的な方法を分かりやすく確認できるガイドライン等を作成する考えは。

答 **学校教育部長**　特化した情報提供の必要性を認識している。他自治体の取組を調査し、効果的な情報提供を研究する。

小学校更衣室の設置状況

市民民主連合　**池沢　みちよ**

質問 低学年は男女同室で着がえている学校がある実態を受け、今後の対策は。

答 **学校教育部長**　児童・生徒1人1人が安心して更衣できるよう、校長研修会や体育主任研修会を通して周知していく。

学校に行けない子どもの学び

市民民主連合　**斉藤　誠**

質問 学びの機会を増やすため、自宅オンライン学習や民間フリースクールを活用した際の助成を提起するが、見解は。

答 **学校教育部長**　フリースクールと情報交換し、現状やニーズ把握に努めたい。

ネット・ゲーム依存対策

公明党　**木村　修**

質問 依存症の児童・生徒の実態や家族への対応について、保健所との情報共有や連携した支援はあるのか。

答 **学校教育部長**　連携に努め、適切な支援につなげられるよう取り組んでいく。

小中学校での生成AIの利用

結　**小平　奈緒**

質問 生成AIが子ども達に浸透している。学校教育において生成AIを使用する問題点とそれに対する対策について伺う。

答 **学校教育部長**　生成AI導入における懸念は、思考力や主体性の低下、回答をうのみにすることによる誤った知識の定着、依存による人とのコミュニケーションの機会の減少などが挙げられる。対策としては、市独自のガイドラインを策定することで、教職員と児童生徒が生成AIを利用する場合の考え方を整理し、学校現場における生成AI導入の体制を整えた。

文化振興基本方針（素案）

清風会　**島田　たいぞう**

質問 「めざすべき姿」の「誰もが文化芸術に触れ、活動できる船橋」を「活動できるふるさと船橋」に変更しては。

答 **生涯学習部長**　市民の意見を聞く。

質問 音楽等の専用中ホールの整備を方針の中に位置づけられないのか。

答 **生涯学習部長**　協議・検討する。

学校徴収金に係る事務負担

清風会　**杉川　浩**

質問 未回収金に一律の基準を定めることが難しくとも、学校任せにせず、教育委員会が問題解決に取り組むべきでは。

答 **学校教育部長**　他自治体の取り組み等を学校と共有し、改善に努める。

市議会見学会を開催しました！

市議会の役割や仕組みを理解していただくことを目的に、令和８年８月18日（火）および19日（水）に令和８年度市議会見学会を実施しました。
今回は、**128名の児童・生徒の皆さんにご参加**をいただきました！

当日の様子

市議会の仕組みの紹介

広報委員会を担当する議員から、市議会の仕組みや役割、市議会と市長の関係や会議の様子などの説明を受けました。

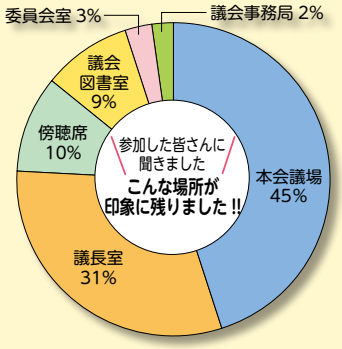

小学生の回の様子


中高生の回の様子

市議会の施設見学

本会議場や議長室など、普段なかなか入ることができない市議会の施設を見学しました。

見学スポット アンケート結果

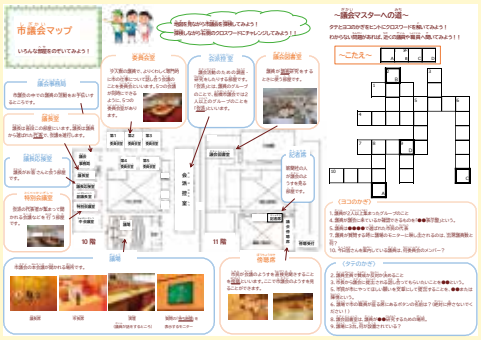








クロスワードパズルも実施しました





議員とのお話し会・意見交換会

議員や市議会のこと、普段の生活で気になっていることなど、直接議員とお話をしました。









参加者の感想

- 普段入ることができない本会議場や議会図書室に入って、議会のことをよく知ることができて、とても楽しかった。（小3）
- 議員さんは市を良くするためにたくさん努力していると感じた。自分も議員になったり議長になったりして市を良くすることに関わりたい。（小４）
- 市議会は僕には関係ないと思っていました。見学会に参加して身近なものなんだと思いました。18才になったら選挙に行こうと思いました。（中２）
- 今回の見学を通じて漠然としたイメージしかなかった市議会についてより詳しく知ることができた。再来年には自分も参政権が付与されるのでその時になったら棄権しないようにしたい。（高１）
- 暮らしにかかわりが深いのに、普段あまり知る機会が少ない市議会等について子どもと学ぶことができ、大変良い機会でした。ありがとうございました。（保護者）

◎令和8年第4回定例会は、11月13日（金）から12月18日（金）まで開会の予定です。

詳しい日程は、下記へお問い合わせください。また、右下のコードを読み取ることで日程を確認できます。
「ふなばし市議会だより」に対するご意見・ご感想もお待ちしています。

＜問い合わせ＞　〒273-8501 船橋市湊町2-10-25　船橋市議会事務局
電　話　047-436-3014　　FAX　047-436-3013
Eメール　gikai-chosa@city.funabashi.lg.jp